

呉自社商品開発協議会

新規事業開拓グループ

令和元年度総会資料

発表者：
佐藤技術サポート
リーダー 佐藤 正美

R1. 5. 16

新規事業開拓グループ

グループの目的

技術分野，業種を問わず，自社及びグループ会員共通の短期・中期的で実現可能な事業化テーマについて，必要に応じてビジネスプランを作成して，グループ会員の新規事業創出や実践グループの創出を図る。

平成30年度活動実績(1)

No	日時	議事	参加者	備考
1	H30. 4.13(金) 18:00～19:50 E5-8-14F	第1回グループ会議 ・役員会報告 ・新規テーマ検討 ・会計報告 ・情報交換	23名	
2	H30. 5.11(金) 18:30～19:30 E5-8-14F	第2回グループ会議 ・総会協議 ・アカリナ+照明システム検討 ・情報交換	14名	
3	H30. 5.23(水)	平成30年度総会参加 ・ものづくり講演会、総会 ・H29年度活動・H30年度活動計画の報告 ・交流会		総会参加
4	H30. 6. 8(金) 15:00～19:30 E5-8-14F	第3回グループ会議 ・アカリナ+照明システム検討 ・バスタブ洗浄検討 ・ビニル袋開封装置検討 ・情報交換	9名	
5		第4回グループ会議 広島県災害のため中止	名	
6	H30. 8.10(金) 18:00～19:50 E5-8-14F	第5回グループ会議 ・役員会報告 ・アカリナ+照明システム検討 ・バスタブ洗浄検討 ・ビニル袋開封装置検討 ・情報交換	11名	
7	H30. 9.14(金) 18:00～19:30 E5-8-14F	第6回グループ会議 ・役員会報告 ・バスタブ洗浄検討 ・ビニル袋開封装置検討 ・先進企業視察検討	10名	
8	H30.10.12(金) 18:00～19:30	第7回グループ会議 ・役員会報告 ・ビニル袋開封装置検討 ・先進企業視察検討	10名	
9	H30.11.9(金) 10:00～16:30	第8回グループ会議 ・ビニル袋開封装置検討 ・放竹林協議 ・先進企業視察検討 ・情報交換	9名	
10	H30.12.14(金)	第9回グループ会議&先進企業視察 ・セーラー万年筆(株) ・(株)黒野金属 ・真金属熱線工業 視察後、忘年会	15名	
11	H31. 1.11(金) 18:00～18:30 E5-8-14F	第10回グループ会議 ・役員会報告 ・ビニル袋開封装置検討 ・情報交換	9名	会議終了後忘年会(16名)
12	H31. 2.8(金) 18:00～19:50 E5-8-14F	第11回グループ会議 ・ビニル袋開封装置検討 ・タケノコ思リツール検討 ・情報交換	9名	
13	H31. 3.8(金) 18:00～19:30 E5-8-14F	第12回グループ会議 ・役員会報告 ・ビニル袋開封装置検討 ・平成30年度まとめ協議 ・情報交換 ・情報交換 ・次期グループリーダー選出検討	9名	

平成30年度活動実績(2)

テーマ推進事項

「省エネ・環境」をキーワードとして、商品化・事業化に向け、4件のテーマ取り上げ検討を進めた。

① 照明システムの検討

アカリナ(ブラインド)とLEDコントロールによる照明システムにより、室内の照明を一定の明るさにコントロールできるシステムの検討を進めた。しかし、Bluetoothを使った無線コントロールシステムが市販されたため、検討を取りやめた。

② バスタブ洗浄装置

霧のいけうち製ノズルを使って楽に洗浄できる装置の検討を行った。最新のバスタブには自動洗浄機能が付いたものが市販されており、また既設のバスタブに使用する安価(数千円)なものもあり、開発は困難と考え検討を取りやめた。

- ③ ビニル袋開封装置
スーパーに設置されているビニル袋は口が開けにくいいため、簡単に開ける機構を検討した。摩擦を利用した方法で4次試作を重ねたが、まだ課題があり、継続検討とした。
- ④ タケノコ堀りのツール
タケノコは土から頭を出すか出さない状態が一番おいしいとされているが探すのは相当熟練を要するものである。
誰でも簡単に探し出せるツールを目標として、
超音波探索法(接触式)及び赤外線水分量測定法(非接触式)について呉高専の助言を得ながら可能性を追求している。

平成30年度活動実績(3)

1. 先進企業訪問の実施

参加者 15名

実施日 平成30年12月14日(金)

① セーラー万年筆(株) 天応工場

場 所: 呉市天応西条2-1-63

10:00~11:30

- ・天応工場では万年筆、ボールペン、マーカー等について国内のほとんどの製品を製造している。
- ・万年筆は1000円程度のものから100万円を超えるものまである。ペン先の精密加工、ボールの溶接は書き味を左右する重要な部分で、社内でノウハウを蓄積している。
- ・ボールペン製造工程では射出成型機に自社開発・販売の取出口ロボットを使用している。
- ・全体に細かな部品を扱う工程の連続であり、熟練技術が重要な部分が多いと感じた。

新規事業開拓グループ



パイロット万年筆(株)中庭

②(株)黒野金属 苗代工場

場 所: 呉市苗代町横畝12126-61
(13:30~14:30)

- ・水道メーターのケース(BC鋳物)の製造を行っており、機械加工を含め、一貫した生産体制。
- ・以前は多くの鋳造業者があったが、減少してきたため、逆に需要が増えている。

新規事業開拓グループ

- ・苗代工場は新たに土地・建物を取得し、大規模な鋳造設備を導入して2018.3月に稼働を始めた。大型BC鋳物工場であり、同等規模の工場は他にないと思われるので、今後の発展が期待される。



(株)黒野金属玄関



鋳造工場

新規事業開拓グループ

② 呉金属熱錬工業(株) 黒瀬工場

場 所: 東広島市黒瀬町市飯田180-1
(15:00~16:00)

- ・イオン窒化、各種焼入れ、大型部材熱処理、溶射等の金属熱処理全般に対応できる技術・設備を保有。
- ・徹底した品質管理と納期管理を方針としている。
- ・鉄の状態図や焼入れ手法について分かりやすく説明いただいた。



工場広場

新規事業開拓グループ

平成30年度 まとめ

平成30年度は、KIT会員からの提案や情報をもとに4件のテーマについて協議を重ねた。

メンバーの方々はそれぞれ試作やアイデア提供等の努力をされたが、商品化に結び付けることはできなかった。

メンバー各位のものづくりに対する情熱は変わることないので、情報交換・先進企業視察等で得られた多くの知見がこれからの活動に成果をもたらすと考える。

令和元年度 活動目標

- ・前年度の方向性を継承するとともに、シーズおよびニーズの精査を徹底し、時代のニーズにかなう新規事業化テーマの創出を目指す。
- ・多くの参加者による活発な意見・情報交換の場を持ち、テーマにつながるヒントを探し出す。

令和元年度 活動計画

- ①先進情報の収集と共有(文献・情報交換)
- ②シーズの具現化
特許、研究開発成果等の活用
- ③ニーズの発掘
外に出かけて現場の意見・提案を聞く
- ④継続審議事項の推進
- ⑤新規テーマ策定
- ⑥メンバー各社の抱える課題を持ち寄り検討、討議
- ⑦先進企業訪問
- ⑧講演会・セミナー等の開催
- ⑨他のKITグループへ積極的に参加